

岡山市北消防署

設計 日総建

施工 東洋建設・重藤組・河野建設特定建設工事共同企業体

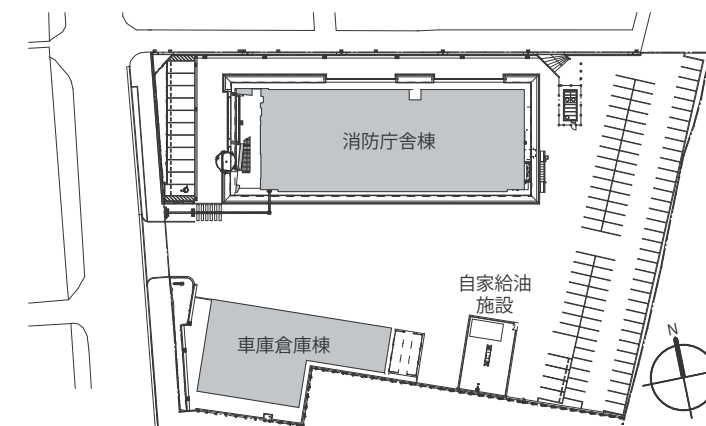
所在地 岡山市北区鹿田町二丁目

OKAYAMA KITA FIRE STATION

architects: NISSOKEN ARCHITECTS / ENGINEERS



色調は、消防署らしい規律性、厳格性を意識したモノトーンをベースに、赤をポイントカラーとした岡山市消防局総設計のイメージ統一を図っている。



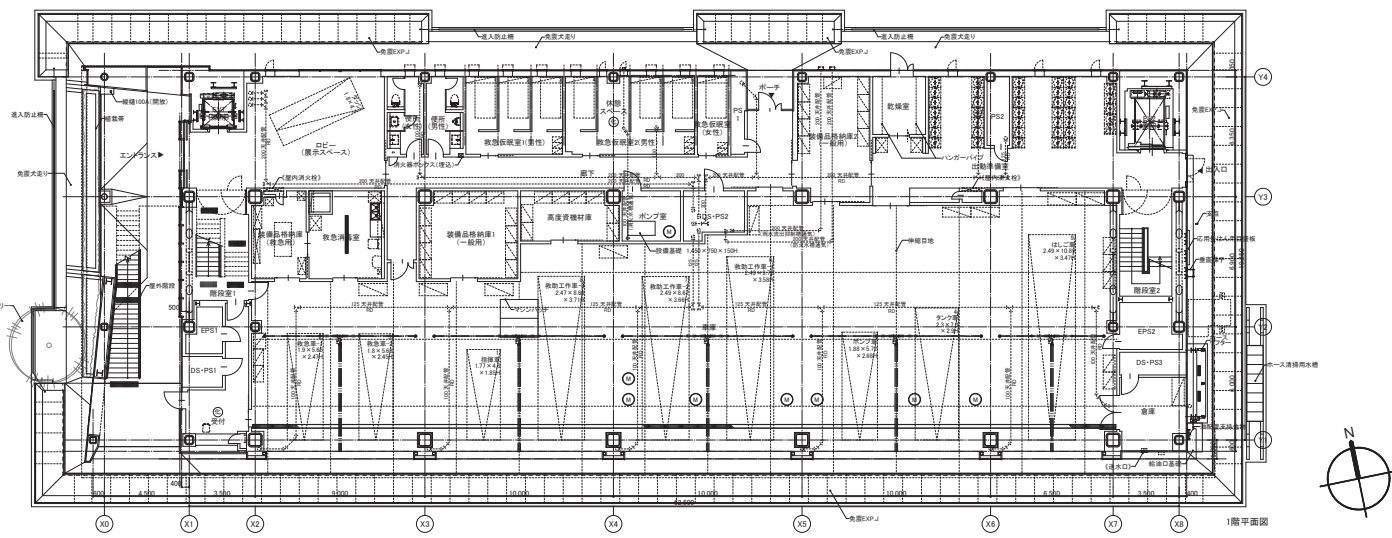
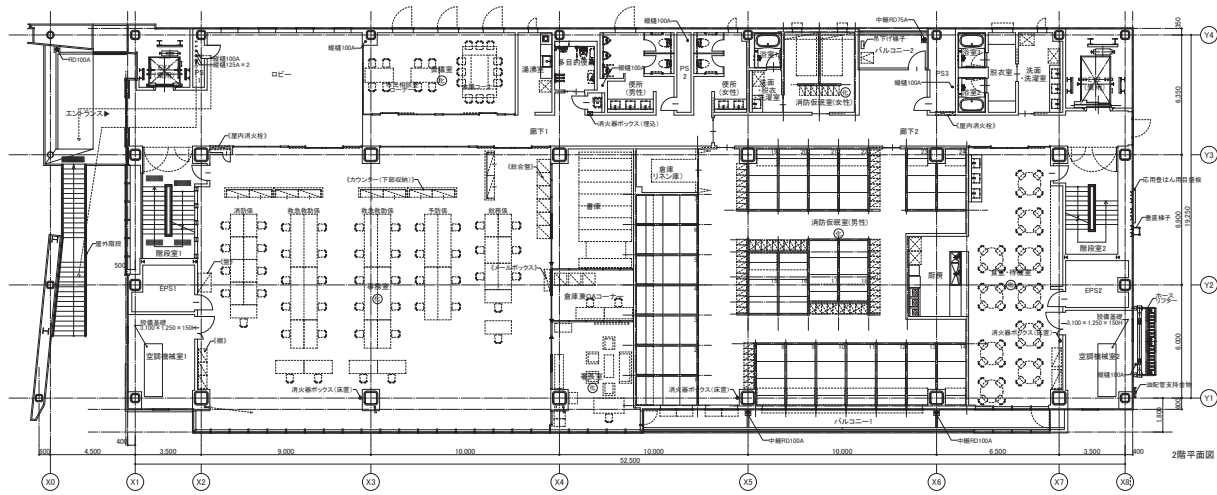
配置図

岡山市北消防署は、近年都市化が急速に発展している岡山市の中心部において、多様化する各種災害に迅速かつ確に対応が可能な機能性・機動性を兼ね備えた総合防災拠点として整備されました。大規模地震発生時においても災害対応が円滑に行えるよう、免震構造を採用して耐震性を確保するとともに、24時間いつでも燃料補給が可能な自家給油設備を併設しています。また、屋内訓練室の見学や防災研修室での各種研修による防火・防災の啓発を通じて、消防行

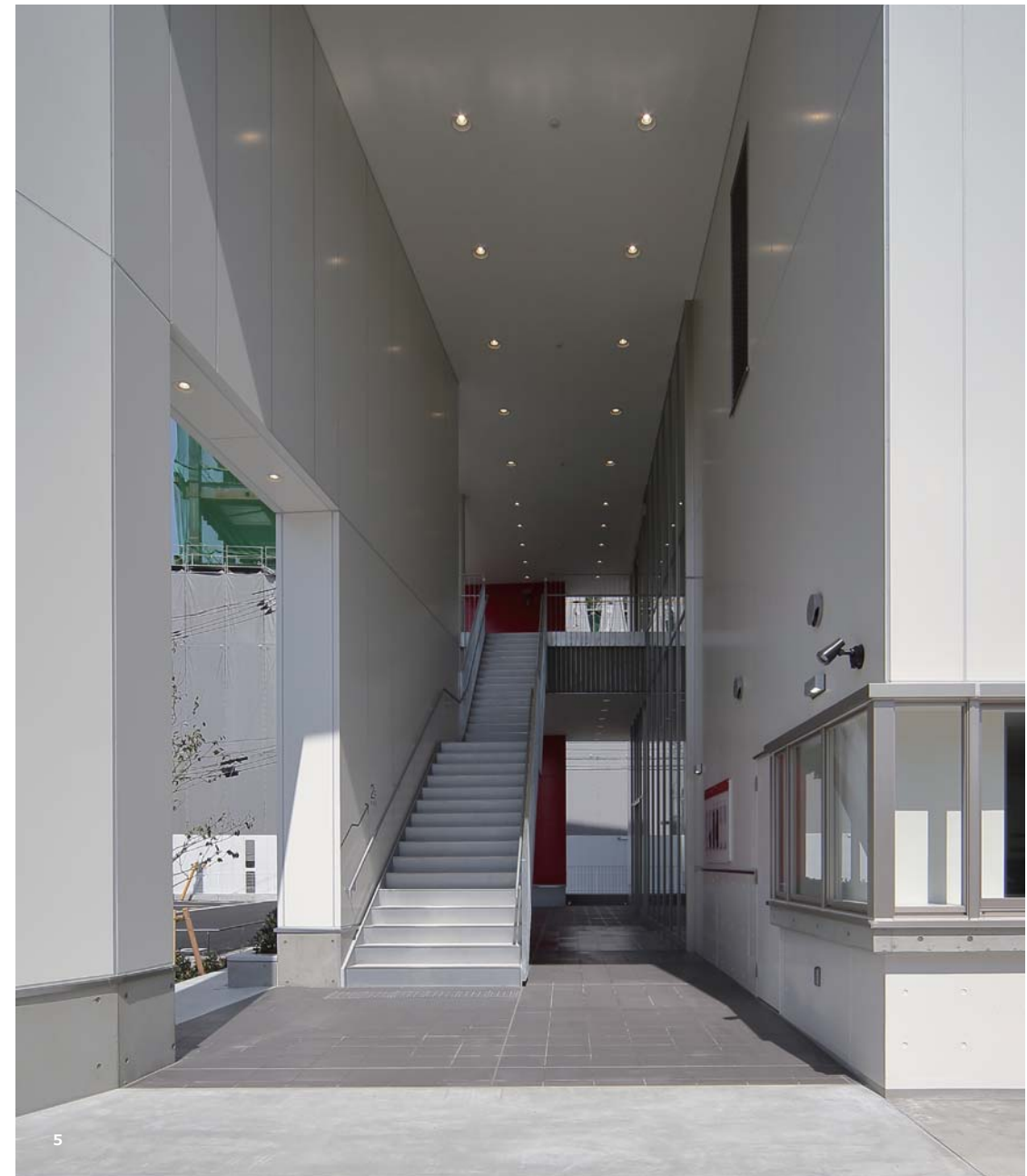
政への関心・理解を深めることにより、オープンで親しまれる消防署となることを目指しています。

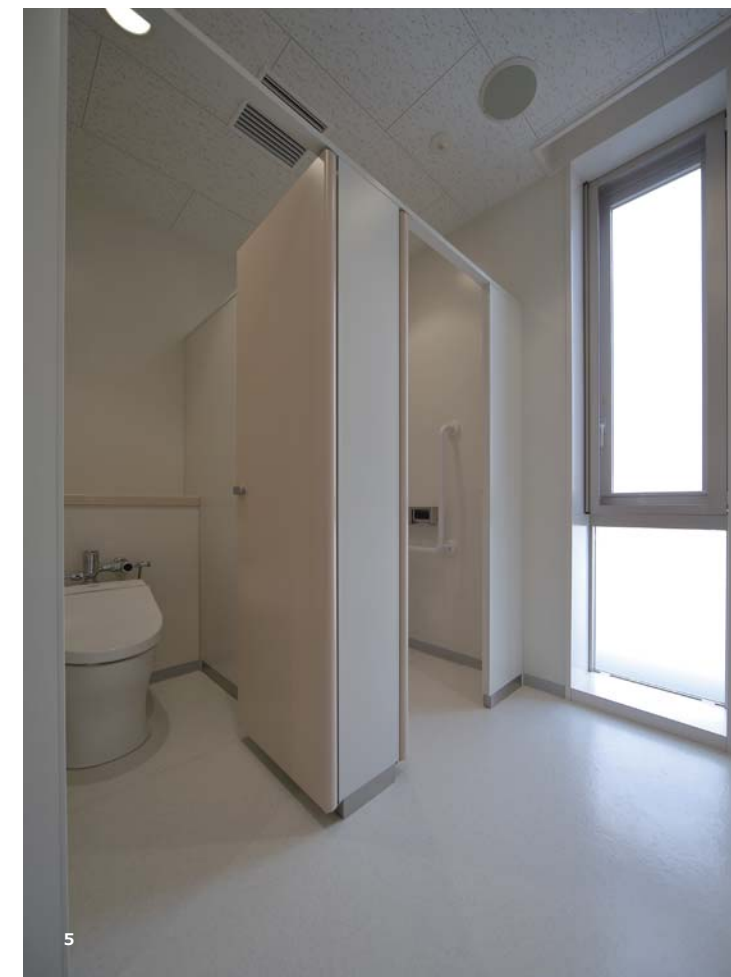
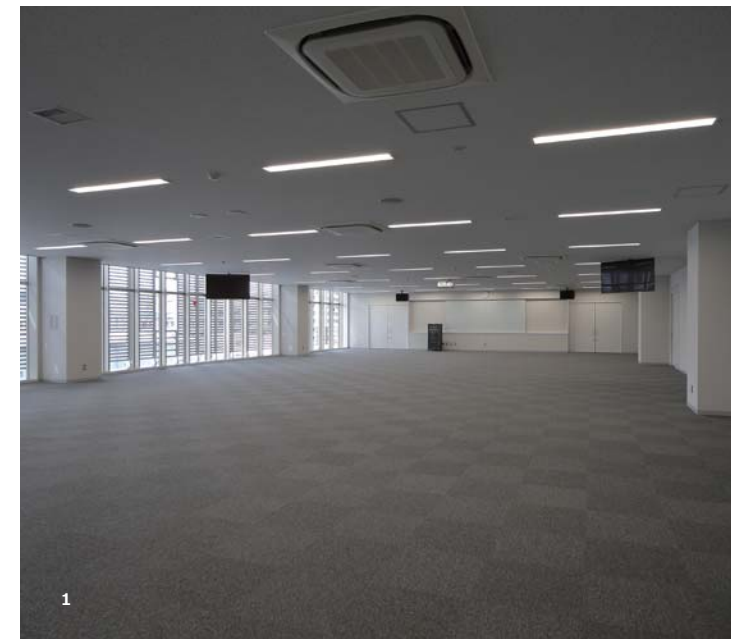
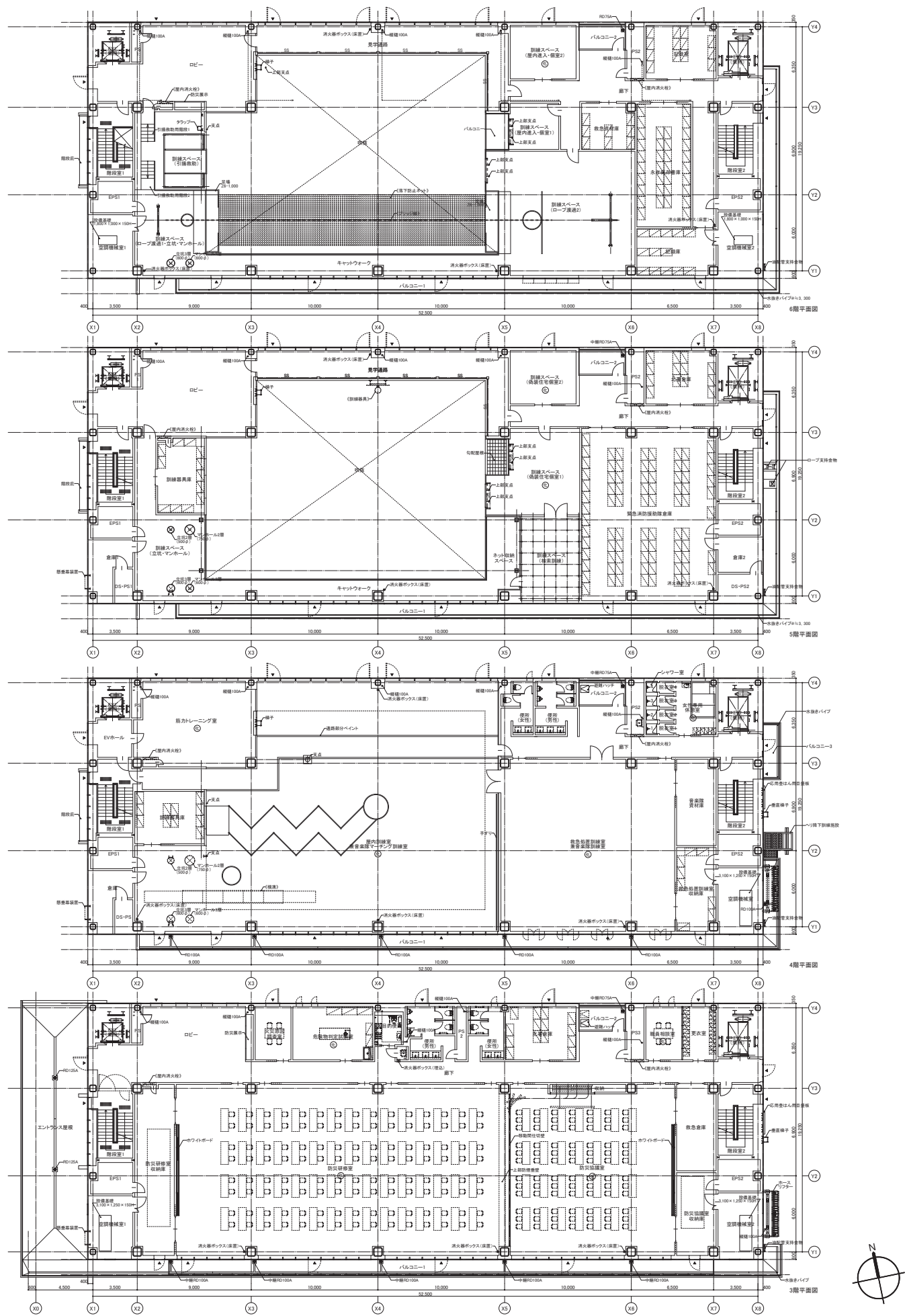
1 敷地内には車庫倉庫棟、自家給油施設、屋外駐車場等があり、限られた面積を最大限有効活用できるよう、敷地中央部のオープンスペースを共有する形で各施設が配置されている。2 敷地は岡山市公共施設が集積する市の中心地域にあり、岡山大学医学部と隣接している。3 日射調整要素として、南面の2・3階にはルーバー、4階以上にはバルコニーを設けている。4 東側には応用登はん、梯子、ヘリ降下の訓練設備が備えられている。



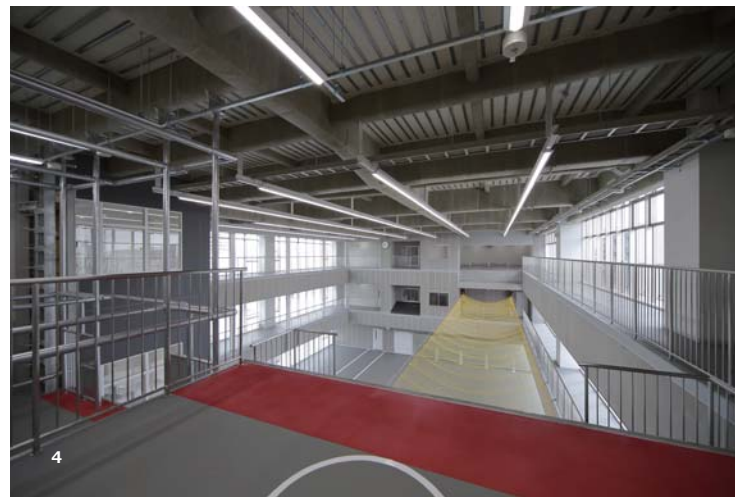


1 2階事務室。ロビー、廊下とはガラスパーティションで仕切り、明るく親しみやすいイメージとしている。またOAフロアの採用で、フレキシブルな執務空間となっている。| 2 2階男性用消防仮眠室。仮眠室は災害対応等の支援受入を想定し、襖を利用することで大広間のように使うことが可能。| 3 食堂・待機室は廊下を介さず、直接階段室へ入ることが可能。| 4 西側に救急車両、東側に消防車両を主に配置し、出動に備えている。救急車後方に救急消毒室・資材庫等が配置されている他、2階事務室・救急仮眠室からの動線に配慮している。また、2階食堂・待機室から出動準備室、車庫へと、迅速な消防活動への流れが可能となっている。| 5 受付からエントランスを見る。2階事務室へは屋外階段を使用して直接アクセスする。市民を迎え入れる分かりやすいエントランスとなっている。



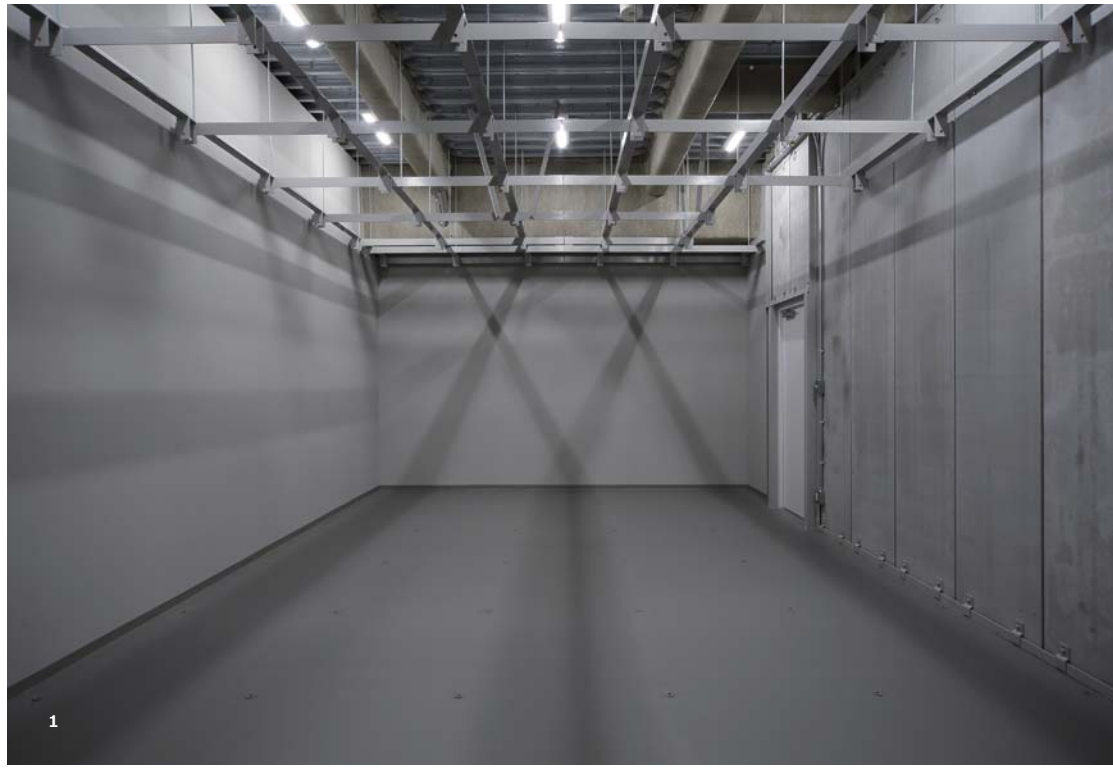


1 3階防災研修室。大人数での利用を想定した防災研修室は、移動間仕切りを解放することで防災協議室を含めて一室での利用も可能となる。| 2 北消防署には定期的、市民の救命講習等を行っている。音楽隊の訓練室としても使用する為、造音性を高めている。| 3 4階救急処置訓練室兼音楽隊訓練室。ここでは定期的、市民の救命講習等を行っている。音楽隊の訓練室としても使用する為、造音性を高めている。| 4 研修・協議スペースがある3階にはバリエーションにアルミ製ルーバーを設置し、日射調整を行っている。意匠性もあり、外観のアクセントになっている。| 5 女性専用便所には柔らかな色調を用い、女性らしい落ち着いた空間となっている。



1-2 屋内訓練室では本番に備え、実戦さながらの訓練を実施している。| 3-6 当施設最大の特徴である、中四国最大級の屋内訓練室が3層分の吹き抜けと組み合わせて計画されている。ここでは、ロープ渡過、引揚救助、

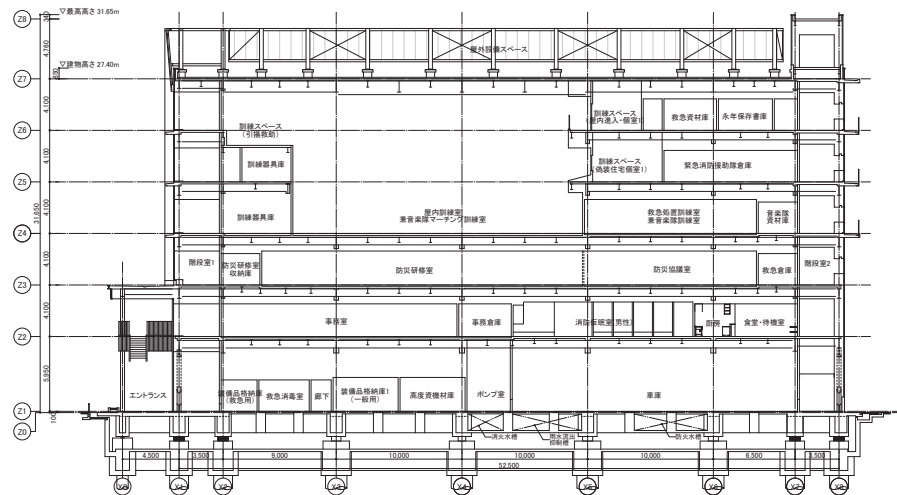
マンホール・立杭・屋内進入等の各種訓練のほか、マーチングやクライミングトレーニングも行うことが可能となっている。考えられる使用状況から、余計な意匠性を排した計画とした。



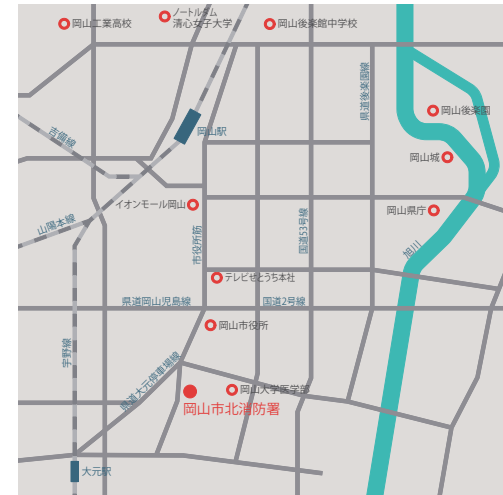
1-2 訓練スペース。訓練用として意図的に暗い迷路を再現する検索訓練と、2階以上の住宅や集合住宅を想定した屋内進入訓練を行うことが可能。| 3 5階にある見学ロビーからは屋内訓練室を見ることが出来る。| 4 太陽光発電システムを採用し、環境負荷の低減を行っている。陸屋根に設置している為、メンテナンスも容易に行える。| 5 4階以上のバルコニーは、屋内訓練室のキャットウォーク（見学通路）と構造的に一体化されており、このバルコニーが大きな庇効果を生んでいる。| 6 屋外には車庫倉庫棟、自家給油施設を設置。大規模災害時にも緊急車両に給油することができ、現場に駆け付けることができる。| 7 車庫倉庫棟の内装仕上はボード素地とし、コスト削減を行っている。



東西断面図



Okayama Kita Fire Station



岡山市北消防署
 所在地 岡山市北区鹿田町二丁目4番1号
 主要用途 消防署
 施主 岡山市
 設計・監理 日総建
 施工 建築 東洋建設・重藤組・河野建設
 特定建設工事共同企業体
 空調・衛生 斎久工業・太田設備工業
 特定建設工事共同企業体
 電気 中電工・木多電気設備
 特定建設工事共同企業体
 地域地区 商業地域
 敷地面積 7,198.12 m²
 建築面積 1,759.90 m²
 延床面積 6,942.70 m²
 階数 地上6階
 構造 鉄骨造（免震構造）
 工期 2015年1月～2016年3月